

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

2021年10月

【記】

◇新規受託開始検査項目

項目コード:4814

特異的IgE Asp f 1 (アスペルギルス由来)

受託開始日:2021年10月18日(月)受付分より

Asp f 1は、アスペルギルスのアレルゲンコンポーネントの1つであり、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症(ABPA)の発症原因真菌である *Aspergillus fumigatus* (アスペルギルス・フミガーツス)の主要アレルゲンです。

ABPAは成人喘息患者あるいは嚢胞性線維症患者の気道に発芽・腐生したアスペルギルスが気道内でアレルギー反応を誘発して発症する慢性気道疾患です。

その診断は、注意深い経過観察に従って取得した複数所見の診断基準への適合をもとに進められるため容易でなく、数年以上かかることもあると言われています。

Asp f 1は、ABPAの診断補助において、現行のアスペルギルス粗抽出抗原を用いた特異的IgE測定に比べ臨床的特異度に優れるため、アスペルギルスに感作された喘息の中のABPAの鑑別に有用であると考えられます。

※ 受託要項につきましては裏面をご参照下さい

◇受託要項

検査項目名	特異的IgE Asp f 1 (アスペルギルス由来)
項目コード	4814
検体材料	血清
検体必要量	0.3mL
保存方法	冷蔵
容器	㊦:分離剤入り容器
検査方法	FEIA法
基準範囲	クラス:0(-) U _A /mL:0.35未満
単位	U _A /mL
報告桁数	小数第2位
所要日数	2~3日
検査実施料	110点 ^{※1}
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	※1:特異的IgE検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度として算定する。

◇アレルギークラス判定基準

U _A /mL	判定		クラス
0.35未満	陰性	(-)	0
0.35~0.69	疑陽性	(±)	1
0.70~3.49	陽性	(1+)	2
3.50~17.49		(2+)	3
17.50~49.99		(3+)	4
50.00~99.99		(4+)	5
100.00以上		(5+)	6